

「北東アジア地域の漂着物対策関係者会議」の開催結果について

- 1 開催日時 2021年11月17日(水) 13:30~16:00
- 2 開催方法 Web会議
- 3 主催 富山県、(公財)環日本海環境協力センター(NPEC)
- 4 参加自治体 4か国14自治体
日 本 (5) : 富山県、北海道、秋田県、山形県、鳥取県
中 国 (2) : 陝西省、遼寧省
韓 国 (3) : 江原道、忠清南道、慶尚南道
ロ シ ア (4) : 沿海地方、ハバロフスク地方、アムール州、
トムスク州
- 5 会議内容
 - (1) 事例発表
 - ① [海に流れ込む漂着物を減らし、海洋生態環境の保護を強化する\(遼寧省\)](#)
 - ② [忠清南道での住民参加型海洋ごみ管理政策\(忠清南道\)](#)
 - ③ ハバロフスク地方住民による、海岸、湖や川の岸辺の清掃活動への参加(ハバロフスク地方)
[1](#)、[2](#)
 - ④ [鳥取県のプラスチックごみ削減対策\(鳥取県\)](#)
 - ⑤ [富山県における海岸漂着物対策\(富山県\)](#)
 - (2) 意見交換
 - ① 情報提供
[海岸におけるマイクロプラスチック調査ガイドライン\(市民参加型\)について\(NPEC\)](#)
 - ② 意見交換
 - ・清掃活動等への市民参加の促進策について
 - ・プラスチック処理対策について など
- 6 会議結果
 - ① 事例発表では、5自治体から海岸漂着物の削減対策等について発表があり、積極的な質問なども多く寄せられ、地域の実情にあった優良事例を共有することができた。
 - ② 意見交換では、富山県から清掃活動等への市民参加の促進策について質問があり、山形県からは産学官連携でのクリーンアップ運動、秋田県からは内陸域の子供向けバスツアーなどの事例が紹介された。また、陝西省から海への流入抑制のためのプラスチック処理対策について質問があり、富山県からは日本での容器包装の分別収集や繊維製品等へのリサイクルなどの事例紹介、忠清南道からは韓国でのリサイクル率低迷の実態の説明やプラスチックリサイクル技術向上の必要性などの意見が述べられた。
こうした事例発表や意見交換を通して、北東アジア地域の漂着物対策についての相互の理解が深まり、対策意識の高揚や実践行動の促進、対策の連携強化などが図られた。

【会議の様子】



会議の様子



韓国忠清南道の事例発表



情報交換の様子



事務局会場の様子